

「市民総合相談室」から身近な情報をお届け

「健康食品で
薬物性肝障害!?!」

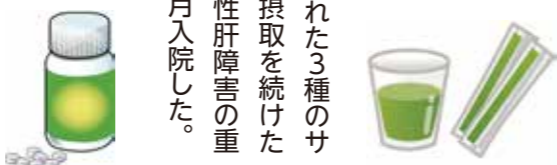
国民生活センターには、「医師からの事故情報受付窓口」が設置されています。消費生活における食品の摂取などによって消費者の生命、または身体に生じた被害に関する事故を、医師から直接お寄せいただくものです。

今回は健康食品の摂取による、薬物性肝障害が発生した事案について紹介します。



事例
■通販で購入した特定保健用食品の粉末青汁を1回引用したところ、薬物性肝障害の重症となり34日間入院

■知人に勧められた3種のサプリメントの摂取を続けたところ、薬物性肝障害の重症となり1カ月入院した。



健康食品の摂取により、まれに薬物性肝障害を発症することがあります。「倦怠感」「食欲不振」「発熱」「黄疸」「発疹」「吐き気・嘔吐」「かゆみ」などの症状が見られ、症状が持続する場合は、摂取をやめてすみやかに医療機関を受診しましょう。

国民生活センターからの本報告書では、健康食品は、いわゆる健康食品のほか、保健機能食品も含むとされています。

問 市民課市民総合相談室 ☎内線2530

《「平戸よかよか体操」オリジナルCDおよびDVDを無償貸し出し中です!》

「みんないきいき元気に」

高齢者の通いの場訪問

VOL.18

平戸市では、高齢者がいつまでも元気でいられるために、身近な地区公民館などで健康体操「平戸よかよか体操」を毎週行う場の設置を推進しています。

このコーナーでは、各地区の「高齢者の通いの場」を毎月紹介いたします。

問 福祉課高齢者支援班(地域包括支援センター) ☎内線2586



「高越地区住民主体の通いの場」

「高越地区住民主体の通いの場」は「他の地区で行われている平戸よかよか体操を地元でしたい!」という住民の声に区長が賛同し、平成28年1月から開始しました。高血圧などの治療をしている参加者もいるため、受付後は必ず血圧測定を行い、薬の飲み忘れも参加者同士確認し合っています。

参加者の中には、両足の手術後、人の腕をかりて歩いていた参加者も自分で歩けるようになったり、足がうまく上がらなかった参加者もつまずきが解消されたりと、立ち上げから半年経って少しずつ体操の効果を実感しています。

活動日/毎週土曜
午後1時~午後2時30分
活動場所/高越公会堂
対象者/高越地区住民
代表/鴨川 照幸
連絡先/28-1844

Interview

高越地区
住民主体の通いの場

代表
鴨川 照幸 さん
(高越町)



自分自身が脳梗塞などの病気を患っているため、リハビリと思って体操に行き、妻も心筋梗塞の手術をしてリハビリ目的で、毎週一緒に参加しています。公会堂の鍵を開けたり、受付や血圧測定のお世話をしていますが、最高齢の89歳の人が元気に参加する姿を見ればとても嬉しく思います。一人暮らしの参加者がたまに欠席すると心配になり、電話をかけて安否確認を行ったりします。

高越地区は農作業などの仕事を続けている元気な高齢者が多いですが、毎週顔をあわせて、参加者同士での地域の結びつきがさらに強くなってほしいと願っています。



vol.07

你好(ニーハオ)!平戸

「九」という数字の話

今日から九月に入ります。中国の学校でも日本と同じで、7、8月の2カ月の夏休みが終わり、新学期の始まりを迎える時期です。

さて、今日は「九」という数字についてお話をしたいと思います。日本では、「九」の発音と「苦」の発音が似ていることから、「九」があまり好かれていないようですが、中国では、かなり人気のある数字です。

古代中国では、数字を陰数(偶数)と陽数(奇数)に分けており「九」は最も大きい陽数として重んじられてきました。古代の皇帝が「九五之尊」(きゅうごのそん)と呼ばれる理由はここにあります。中国北京にある世界遺産の故宮は、皇居として建てられたもので、



国際交流員
董 海燕
(ドン・ハイヤン)
(中国出身)

その中の門はいずれも縦横にそれぞれ九つの釘が打たれており、3つの主殿の壁の高さも九丈九尺になっています(丈=10尺=3.030メートル)。

また、このおめでたい数字である「九」が重なる「九月九日」(旧暦)は「重陽の節句」として縁起の良い日とされてきました。長寿を願う意味も込められ「老人の日」とも呼ばれています。

さらに、この「九」の中国語の発音は「ジュー」であり「末永く」を意味する漢字の「久(ジュー)」の発音と同じであることから「永遠・長い」などを連想させるめでたい数字として、現在でも愛され続けています。

問 文化交流課交流推進班 ☎内線2269